

2010年03月発行

編集・発行

君津中央病院

☎ 0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

基本方針

- 1、接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2、高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3、包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4、救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5、職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6、病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

《今号の表紙》

【美し森から権現岳】

清里から八ヶ岳へ向かって行ったところに“美し森”というところがあり、少し登ると権現岳や赤岳が見えます。この写真は初冬ですが雪を被った権現岳と白樺林がきれいでした。

(Y・S)



認定第JC295-2号
〈一般病院〉
2009.08.23-
2010.04.30

JCQHCとは、市民が適切で質の高い医療を安心して受けるよう、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者

循環器科

◆ 心筋梗塞について（循環器科）

循環器科の取り扱う代表的な病気心筋梗塞があります。心筋梗塞という名前はお存じの方が多いと思いますが、簡単に説明すると、心臓の筋肉を栄養するための血管（冠動脈）がつまってしまい、心臓の筋肉の一部が死んでしまう病気です。

この病気は危険な病気で、病院にたどり着く前に死亡してしまう人が多いため、正確な致死率はわかりませんが30～40%とされています。（新型コロナウイルスは0.01～0.02%）病院に到着して心筋梗塞と診断された人の致死率は現在では10%以下になっています。ただし、命が助かって一度心筋梗塞をおこすと心臓のポンプとしての能力が低下します。

【症 状】

心筋梗塞の症状は前胸部の重苦しい痛み、締めつけられるような感じが30分以上続くのが典型的です。顔面蒼白、冷や汗、血圧の低下などをしばしば伴います。

【治 療】

急性期の治療は、心筋梗塞が発症してからできるだけ短い時間（90分以内）に、カテーテルなどを用いて治療し、つまった血管に再び血液が流れるようにすることが望ましいとされています。当院では24時間対応しています。入院期間は病状により3～20日程度です。慢性期には動脈硬化の予防、心不全がある場合は心不全のコントロールなどが治療の中心となります。

【予 防】

通常、心筋梗塞は血管が年をとり「動脈硬化」を起こした人に発生します。ですから動脈硬化の予防が心筋梗塞の予防につながります。日本循環器学会で推奨されている主だったこと

を以下に記載します。

1.血圧の管理

野菜を多く摂取し、食塩は一日6g以下に。

2.脂質の管理

脂肪の摂取量を総エネルギーの25%以下に、魚介類の摂取を多く。

3.体重の管理

Body Mass Index (kg/m²) を18.5～24.9に保つ。

4.糖尿病の管理

糖尿病の診断を受けた人は、定期的な通院を。

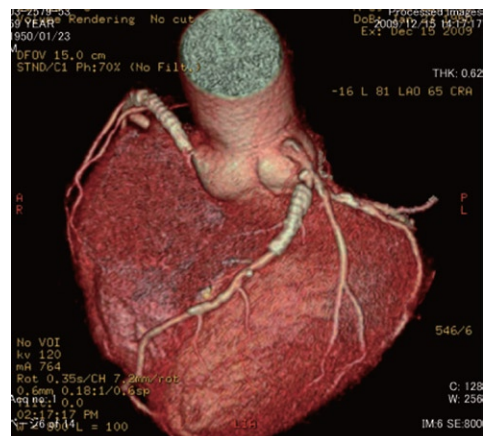
5.運動

一回30分以上の運動を週3～4回。

6.禁煙

喫煙によってリスクは2倍程度に上昇する。

生活習慣の改善についてはかかりつけ医と相談してください。飲酒に関しては、以前に赤ワイン健康法がブームになったことがありますが、その後の研究でお酒の種類に関係なく、アルコール量40g/日程度までは直接に心筋梗塞のリスクは増やさないとされています。ただし過度の飲酒は高血圧を増悪させるのでアルコール量30g/日以下（ビール500ml程度まで）が良いとされています。



心筋梗塞および狭心症治療のため、左右の冠動脈に「ステント」が留置された冠動脈CT画像

診療科紹介

脳神経外科

◆ 頭部MRI検査でわかること

頭部MRI検査を受けたことがありますか？
 受けたことがなくても検査の名称ぐらいいは聞いたことがある人は多いかもしれません。頭部MRIが臨床の現場で利用されるようになり、25年以上が経過しています。個人的なことですが私は医者になって25年めですので、頭部MRIの進歩とともに医者が続けてきているといってもいいかもしれません。以前に比べると検査時間も短くなり、画像も良くなってきています。1990年前後からは頭部MRI検査をメインにすえた脳ドックも施行されるようになり、現在全国で600以上の施設にて行われているようです。頭部MRI検査の利点は何と言っても危険が少ないことです。磁気を利用した検査ですので特殊な金属が体に埋め込まれている人以外は何の問題もなく検査を受けることができます。頭部MRI検査が比較的手軽に受けられるようになり、多くの患者さんたちがその恩恵を享受しているのは間違いありません。無症候性脳梗塞が発見され、脳梗塞の予防的処置を早めに行えたこと、無症候性の脳血管病変に対し発症前に手術的処置が安全に行えたことなどがあげられます。その一方で少し気になることが出てきています。それについて少し書かせていただきます。

数か月前のことです。80歳代後半の元気なおばあちゃんが高院で念のためにと勧められて頭部MRI検査を受けられました。その結果、未破裂脳動脈瘤が発見されてしまいました。一般的に未破裂脳動脈瘤は無症状で、困ることはありませんが、破れて出血するとクモ膜下出血というやっかいな病気になってしまいます。現在の医学では脳動脈瘤をお薬で治癒させることはできません。開頭手術か脳血管内手術という方法を選択せざるを得ません。残念ながらこれらの治療法には本当にわずかではありますが後遺症の危険があります。未破裂脳動脈瘤の破裂率は年間およそ1パーセント程度と言われています。彼女は80歳代後半ではありますが、認知症もなく、私の説明を良く理解していただき、治療はせずに経過をみるという方針になりました。ただ彼女が診察室を去り際に一言おっしゃいました。「先生の説明はよくわかったし、先生に勧め

められたわけじゃないけど頭部MRIなんかやるんじゃなかった」……かなり重い一言でした。頭部MRIによって一般の人々に偶然に発見される病変がどの程度あるかということが2007年のThe NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINEという海外の有名な医学雑誌に掲載されています。それによれば無症候性の脳梗塞は45歳から59歳の方の4%、60歳から74歳の方の6.8%、75歳から97歳のかたの18.3%に認められるということです。良性の脳腫瘍はそれぞれの年代で0.5%、1%、1.6%で、未破裂脳動脈瘤はそれぞれの年代で1.7%、1.8%、1.6%の頻度であったとのことでした。

繰り返しになりますが頭部MRIは大変有用な検査であり、脳ドックも大切です。ただ頭部MRI検査を受ける前に、検査でどのようなことがわかるのか、わかった場合どのように治療されるかなどについて多少なりとも知っておくことは悪いことではないと思い、このような文章を書かせていただきました。自分の人生は誰のものでもなく自分のものです。自分の脳の状態を知っておきたい方は是非とも脳ドックをお受けください。ただ他人に勧められて何となくというのは避けたほうがいいのかもしれないね。

君津中央病院 脳神経外科 興村義孝



脳外MRI装置（1.5テスラ）

君津中央病院 創立七十周年 記念式典開催



平成21年11月7日午後1時30分、君津中央病院4階講堂において、君津中央病院創立70周年記念式典を開催しました。

議員や行政関係者、医療関係者の集まる中、最初に福山企業長から「70年に渡る先人の努力により君津地域の拠点病院としてここまで活動することができた。70周年を機に更なる医療技術の向上と地域の皆様へのサービスの充実を目指す。」と挨拶しました。

その後に、戸谷県健康福祉部長（森田県知事代理）、浜田前防衛大臣、君津地域4市の市長を代表して水越木更津市長そして小林企業団議会議長から祝辞をいただきました。

式典終了後、認定NPO法人「救急ヘリ病院ネットワーク」理事長の國松孝次氏による記念講演を行い、最後に記念植樹として、病院の4階から外に出たところにある「緑の丘」に「クロガネモチ」の木を植樹しました。



記念植樹を行う福山企業長と鈴木病院長



「緑の丘」に植樹しました。



毎日新聞社提供

70年間 地域のために医療を続けることができました これからも地域の皆様に親しまれ信頼される病院を目指し努力します



長須賀当時の「君津病院」

君津中央病院は昭和13年5月「君津病院」として木更津市長須賀に開設されました。戦後の昭和26年に、設立されたばかりの郡市国保連に経営委譲されて公営となり、昭和39年には地元市町村の一部事務組合として、現在に続く「君津中央病院」となりました。

その後、長須賀から現在の桜井へ移転することになり、昭和43年9月1日、出来上がったばかりの新病院へ引っ越ししました。

移転後は、診療科も増え、病院として大きく発展しました。しかし、月日の経過とともに地域の基幹病院としてはだんだん

古く手狭になり、平成8年に建て替えの計画がスタートしました。

平成15年ようやく念願の新病院が完成し、7月15日に開院しました。病室やロビーも広く明るくなり、入院・外来患者を取り巻く環境は格段に良いものとなりました。

平成18年4月には、より経営に適した組織体制として、経営母体を「君津郡市中央病院組合」から「君津中央病院企業団」に改組しました。

平成21年1月、千葉県2機目となるドクターヘリが配備され、県南地域を中心に救急医療体制の充実強化に貢献しています。

このようにその役割を大きくしてきた現在、最大の課題となっているのは、医療従事者（主に医師・看護師）の確保と経営収支の改善です。この課題の克服に努めるとともに、これからも地域の基幹病院として更に充実した医療の提供を目指しています。



昭和43年桜井の高台に完成した新病院

大佐和分院と附属看護学校

富津市にある大佐和分院は、昭和21年9月に「大貫連合病院」として設立されました。

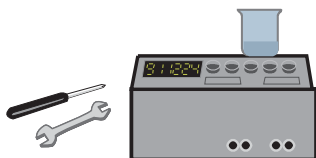
昭和29年4月、郡市国保連に経営委譲され「君津病院大貫分院」と改称し、昭和39年4月には本院の改称に併せ「君津中央病院大佐和分院」となりました。その後、昭和45年に少し離れた場所（千種新田）に新病院を建築し、現在まで富津地区の地域医療に貢献しています。

また、昭和46年、当時全国的に看護師（当時は看護婦）が少ない状況であったことから君津中央病院附属の看護学校を開設（校舎は47年完成）し、これまでに1,000人を超える卒業生を送り出しています。

病院のいろいろな機械は誰が管理しているの？



みなさんが乗られる車には車検制度というものがあります。車検制度自体には賛否両論ありますが、安全を確保する意味では必要だと思います。車検を通さないと車に乗れば罰則が課せられます。では病院で使用される医療機器ではどうでしょうか。数年前に医療法が改正され医療機器の点検義務化が始まったばかりですが、これらを怠っても罰則等はありません。病院には生命維持管理装置など不具合が起これば一大事に繋がる機器が多数あります。医療機器が患者さまに日々安全に使っていただけるように保守管理業務を担っているのが臨床工学技士なのです。



君津中央病院の臨床工学科は1996年（平成8年）に医療機器の保守管理を目的に設立されました。すでに10年以上の歴史があり、君津中央病院で活動しております。開設以前は医療機器購入後は故障するまで未点検なる機器が多数あったと聞いております。しかし高度化する医療機器の安全管理、安全使用の必要性から臨床工学技士のニーズが高まりました。今では8名の臨床工学技士が従事しております。では、臨床工学科の職場を覗いて見ましょう。

人工呼吸器は生命維持管理装置ですので点検には大変気を遣います。専門性の高い医療機器でありますので製造業者の技術者さんと一緒に点検をおこなうこともあります。輸液ポンプは病院で一番使われている医療機器です。院内には350台近くあり定期点検時にはかなりの時間と技術が必要になります。これからも患者様に安全な医療機器を提供できるように努めます。

臨床工学科 科長 佐々木 優二



「人工呼吸器のことなら僕に任せて！
あ…あれ？」



「内部の修理も任せて下さい。
精度を保つには苦勞します。」



「新しい機器を覚えるのは大変です。
だからいつも9時に寝てます。」



4階東病棟紹介



4階東病棟
近藤師長

みなさん、こんにちは。4階東病棟師長の近藤です。
緩和ケア病棟として20床のベッドを有し全個室で「住み慣れた我が家のように」お使い頂いています。人生最後の「その時」を癌から生ずる身体の苦痛を緩和し、スピリチュアルペインに対しては傾聴し、「終末期の質を整える」事を看護の中心においてケアを行い「教えて下さい。あなたの気がかりを」をモットーにスタッフは頑張っています。

一時在宅の支援もMSWと協働し行いその数は拡大しつつあります。今後は、院内や地域とも連携を深め緩和ケアを深めていきたいと思ひます。



デイルーム



スタッフ一同

君津中央病院 附属看護学校

地域の皆様、病院の皆様、おかげさまで34回生も卒業を迎え、こんなに元気に立派に成長できました。ありがとうございます。

私は看護学校の3年間でステキな仲間たちと、充実した日々を過ごし、沢山の人々に支えられていることに、改めて気づくことができました。

東城由季



3年間の看護学生生活は、とても充実し、沢山の仲間と共に過ごし高校生活では味わえない強い絆を築くことができました。この経験を活かし、社会人として頑張っていきたいと思ひます。

高木晴夏



卒業にあたっての今の気持ち
卒業を目前にし、嬉しい気持ちと不安な気持ちです。これから看護師として自覚と責任を持ち、頑張っていきたいと思ひます。

上田敦子



大佐和分院よりお知らせ

ドック受付中
0439-65-1251

マンモグラフィーのご案内

現在、日本女性の約20人に1人が乳がんにかかると言われています。
また、食生活の欧米化や出産年齢の高齢化に伴い30代からの乳がんが増加傾向にあり、壮年女性（40～60歳代）のがん死亡率の第一位となっています。

近年、乳がん検診の重要性が広く知られるようになってきましたが、受診率はいまだ20%程度にとどまっているのが現状です。乳がんは視触診ではわからないような早期での発見が重要で、初期の乳がんの診断に有効とされているのが、マンモグラフィーです。マンモグラフィーとは、乳房専用のエックス線撮影装置で乳房全体を撮影し、その中の手に触れられないような大きさの腫瘤（しこり）や、早期の乳がんの特徴である微小石灰化などを写し出すことができます。

乳房は乳腺と柔らかい脂肪組織で構成されているので、微細な組織をより鮮明に撮影するために、乳房を透明な圧迫板で薄く押し広げて撮影します。その際個人差はありますが、撮影時に軽度の痛みを伴うことがありますので、乳房の張りや痛みの少ない時に合わせて受診する事をお勧めします。



乳房撮影装置 seprio stage

大佐和分院でもこのマンモグラフィーを受けることができます。
撮影は女性技師が担当しています。
ご希望の方は、大佐和分院事務係までお問い合わせ下さい。

外来診察担当医表

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		備考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科・小児科	田中 庄司（涼）		田中 北湯口		北湯口 庄司（涼）		田中 桐谷	庄司（行）	田中 北湯口		
循環器科		山本・藤本 （交代）									予約制 心臓超音波検査のみ
神経内科									島田		
外科							朱				
整形外科			保住								予約制
皮膚科				稲福・小野 （交代）							
泌尿器科					稲原						予約制
眼科	佐々木	佐々木	佐々木		佐々木	佐々木	佐々木		石渡・古山 （交代）		
人間ドック					田中				山倉		

受付時間
午前 8:00～11:30
午後 12:00～15:00

診療開始時間
午前 9:00～
午後 13:30～

国保直営君津中央病院大佐和分院
富津市千種新田710番地
TEL 0439-65-1251

編集後記

君津中央病院は昨年創立70周年を迎えました。またドクターヘリが導入されてから、1年が過ぎました。これからもさらなる病院の発展のため職員一同精一杯がんばります。そして今年も広報誌クローバーは病院の近況を掲載してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願い致します。

R・N